



無垢の血を流す腕

INUYASYA-FOR ADULT



**TOKOYA
PRESENT**

HEIZO&EN KITO

また茶碗相手に
練習してんのかい
琥珀

たまには
公王の一匹も
落としてご覧よ

妖怪は黙って
待つてくれや
しないんだからさ

わ、判ってるよ
そんな事!

でも俺

公王も妖怪も
殺したくないよ

…全く

何にでも
やさしいんだね
御前は

ぽんっ

大丈夫！
あと5年…いや
4年もすれば

御前は
あたしより
強くなるよ！





何せあんな
大グモと
やりあつた連中
だからな

一筋縄じゃあ
いかねえたあ
思っていたが…

流石は
妖怪退治屋の
娘……か？



う…



うあつ…

あつ…



へっ
全く手間あ
とらせやがつて

やつと大人しく
なりやがつたぜ

っ…

あ…



…何だ…

身体が
動かない…

こいつ等の體は
高く売れる
からなあ

あたし
何で…

皆は…

ま、今回は
思わぬオマケが
付いてきたつて
訳だ



犬夜叉?
退治屋の
仲間か?

っ……



御前たち
一体……っ

みんな……は
犬夜叉たち
は……



たまには
こういう女も
いいかも
知れねえなあ

苦勞して墓アナ
掘り返した
甲斐もある



うへ!
熟れた柿
みてーだな!

はっ

あっ……

や……



見ろよ!
思ったより
脂が
乗ってらあ!

あんな格好じゃあ
窮屈でたまんねえ
だろなあ?

やめ……

あっ……

な……何
す……

や……あ!



たんまり詰まった
いいおっぱい
してるぜ!

退治屋なんざ
生業にしてみた
どんなアバズレかと
思や……

離……
離せっ……!

そう言うなよ
褒めてんだ
からさ!

そうーら
だんだん固く
なつてきやがった!

っ……



やめ……

やめろ!

そう邪険に
しなさんなつて!

い……嫌だっ!

何も命まで
とろうたあ
言わねえんだ!



大グモにやられて
埋められてた
おめえ達を
助けてやったのは
俺達だぜ?

ひっ……!

あ……!

その札を
貰いてえだけ
だよ



じっくり見させて
もらわねえと
失礼だよなあ

なあ
「コハク」よ！

どうだ？
知らねえ男が
姉ちゃんの口の中
舐め回してんの
はよ！

なかなか
興奮する
眺めじゃねえか
んん？

ふっ
っ……

へっ……
困った弟だなあ
退治屋……っ

姉ちゃんの言う事
きかねえでよ……
穴が空く程
見てやがる……

ふーっ……

ほら
もつと舌
突き出した

ご希望どおり
楽しませて
やろうぜ……なあ！

ふっ……

っ……

ふっ……

全く
城の連中も
薄情だなあ

良く確かめも
せずに生きてる
奴らまで埋めちまい
やがって！

奴等にやあ
鎧の価値なんて
判りやしねえから
な！

掘り起こそう
なんて
考えも

はっ……

琥珀っ……

こ……

こはくは……

あ……？

こ…琥珀っ

弟は……

あーあ
判ってるって…

ふっ…
ん…

折角助かった
弟をむさむさ
殺したか
ねえだろう？

っ…

はっ…!!

大事な
姉弟だもん
なあっ…

おめえが
大人しく
してりやあ
五体満足で
里に帰して
やらあ!

あっ…あ!

あっ!

お?
どうした?

本気で
感じてんじや
ねえのか?

一丁前に
……っ

派手な音
させやがってよ!

あああ!



あああ！

ああッ！

くあッ…

そりら……
どうだ？

まずは
指一本だ！



乳首みてえに
ぶっくり
張らしやがって

かはっ

あ…ふあ

あッ…



あ…あッ

い…あ



や…

やめろ…

やめろ…

あん？

もう一本は
入るか？

や…

いつ…！



お願……



や…
やあつ…

うん?

痛……
痛いんだっ…

これ以上は
もう……っ



お?
良い反応!



あんま
中の方は濡れて
ねえみてえだが

なに
入れてる内に
馴れて——



あ…

うあっ

いやああっ—



ああーっ

おっ！

あっ

ひっ！

ひっ

うあッ

へっ！
すげえな！

女だてらに
退治屋なんざ
やつてるだけの
事ある！

ひあ...

ぎゆうぎゆう
締め付けて...

へっ！なかなか
良い差だぜ
こりやあ！

はっ...

かはっ...



おいおい
あんまり無茶
しねえでくれよ！

俺の番まで
もたねえじゃ
ねえか！

あっ

うあ！



なあに
そうカンタンに
譲れやしねえよ！

なんてっつって
大事な弟の
命がかかってん
だからさ...

は...

あっ



んあ！

節上様には
しっかり
がんばって
もらわねえとな！

ほら
ちったあ奴イ
きかせろよ
退治屋!

あつ...

こいつの時分
寝ても覚いつて
いうもんだ!

は...

口閉じな
おら!

ふ...

ふ...

うむっ!

ひっ

はう

はっ

へっ
なんだよ

ちやあんと
感じてんじや
ねえか!

はあっ

や...

あ...

はひっ...

ああッ

あつ……つ

うあつ！

くふりー！

こーいう
気の強いのは
どうかと思った
が……

大して普通の
女と変わり映え
しねえな！

何だよ
何するつもり
なんだよ？

ひ……い

ひああつ！

素っ裸で
街道沿いに
転がしとく
とかなあ？

あつ！

はっ！

相手が
何だろうと
構やしねえさ
なあ！

はっ！

そりや
色々だろ？

うあ！

あつ！

なんたつて
弟のためだ！

う……つ

畜生……

う……

いいねえ
若い娘の
口の中つのはよ

おらもつと
舌動かさせて

全部舐め回して
やるから
なあ……つ

んっ……

うむ……





見つ…

うあつ…!

あ…や…

…

お…
お…

出ちまった
なっ…



ひっ…

あ…

悪いなあ
進治屋っ…

くっ…
くっ…
くっ…

アッ…

弟とのおしやべり
邪魔しちゃいました
かなあ…

…





んっ
んっ
んっ
がんばれよー
退治屋！
もうちよつとの
辛抱だ！

いつも化け物
相手にしてんだ
こいつの相手くらい
厭ねえだろ？

ふっ



退治屋…っ

お邪魔させて
いただききつ…

っ…



もっと口
すぼめて
吸ってみな！

割れてるトコ
舌で…お…
いんせ…っ

んっ

んっ

んっ



ふっ

ん…っ

ん…ん…ん…！

おっ…お…

また随分
締めてくれ
ちや…っ…

珍様舐めてる
うちに
悦くなつて
きたか？

んっ…

んむっ…



いいねえ
珍様啜えてる
女のケツって
のはよ

先刻出した
ばっかりだが
…っ

へっ…
大分しおらしく
なってきたじゃ
ねえか？

弟の義とは
いえ……
泣かせるねえ！

妙な気は
起こすなど
言いてえが…

まあ
そんな事あ
言わなくて
判らあな！

なに安い
もんだ…ろっ

すつとの間
殺産開いてりや
いいだけだ

んああつ

あつ

んあつ

はつ

ああつ！

死ぬ目に
あいながら
仲間助けられ
てたのが
馬鹿馬鹿しく
なつてくさあつ

ひうつ

ふつ

んはつ

あーっ！

たった
これだけの事で
弟が開放される
なんてな！

お…御前達
何言つ…

つあ！

あ〜っ！

いーんだよ
判んなくてな！

何にも
判んねえまま
上がつてりや
いいんだよ
逃拍屋！

んあ！



はっ…

あつ

ああッ

はっ…



おいおい
一人で夢中に
なるなよ！

このまじまじ
集中してもらわ
ねえとよ！

ふっ

んッ

んうっ！



な何っ…

何を…



こ…
琥珀っ…

弟にはの…

弟には
構うなっ…

いやいや
そうはいかねえ
たぶろ。



見ろよコハク
姉上は一生懸命
だなあ！

おむ！

おめえの巻に
…へっ！
幸せなんだねえ！

どうだ？
こんくらい近いほうが
良く見えていいだろ？

よかつたなあ
退治屋
おめえの大事な
弟だ！

こんだけ近くに
置いてりやあ
何の心配もねえなあ！

姉……

あ……

上……っ

あ……



っ……!



どーせなら
こいつも仲間
に入れて欲しい
もんだねえ



琥珀っ……

琥珀……あつ

あああつ

姉弟で何
やってんだよ!

おいおい
退治屋!

ほらよ



ガキのちんちん
美味そうに
しゃぶりやがつて！

とんでもねえ
雌上だな
ニククよ！

おんっ
おむっ…

見ろよ
挿が入っただけで
いきなり乗り気にな
りやがった

ふっふっ
ふっふっ



そんなに
ちんちん美味いか
遊拍屋？

はっ
…ふあっ

おら
こっちはも
あるぜ！

んんっ
んんっ

どうだ？
爺のよりも
唾えがいが
あるだろ？

はっ…

んあッ…

お…おっ…

出…出るぞっ！

はああっ

ひあ…

はあっ…

おらもつと
ケツ動かさせ
退治屋!

弟が
物足りねえっ
てよ!

駄目ッ...

はっ...

駄っ...

今更何が
駄目なんだよ!

あっ!

嫌っ

嫌...あ

俺も早いところ
入れたくて
うずうずしてんだ

駄目っ

駄目えっ!

思いつきり

よがつてんじゃ

ねえか!

ああッ

は...あっ

おら!おら!
悦いだろうが
弟のちんちんはよ!

どーだ弟?

姉上のナカは

気持ち良いか?

はあっ



はあん!

ひっ

うあっ



琥珀っ

はっへっ...

あーっ...

姉上っ...

姉っ...うえっ!



あ...あ

姉上ええっ...

はっへっ...

あ...うっ...



ずっ...

ずっ...

姉弟で
盛り上がってる処
悪イがな



大...丈夫っ...

大丈夫...
だからっ...

あたしが
ついてる...
からっ...

はっへっ...

はっへっ...



あ……



うあ……？

何せ後ろがつかえてるもんでね！

とりあえず使えるトコロは全部使わせてもらわんとな！

あつ……
お尻つ……？



はあつ

はあん

このまんま腹の中引っ掻き回して……全部引きずり出してやるからよ……！



はひつ……

ああッ



おらどうだ？
全部入るぜ退治屋！

あ……っ！

はっ……
ひああッ！

あッ!

んはっ

妙なもん
だなッ……

中々……
ガキのと離れ
あッ……

琥珀ッ

くあッ……

や……

はへッ……

ああッ

はッ

……
退治屋!

はあッ

あ……

はあん

あああッ

はあああッ

あッ……

よかったなあ
退治屋っ……

うあッ

あ……あッ

これで「琥珀」は
おめえのものだ
……

姉上っ……

あ……あッ

はっ……

あ……

琥珀うッ……

あ……

うあッ……

あああッ

ふあ……

はっ……

あ——っ

珊瑚……！

……瑚

珊瑚！！



私も犬夜叉に
教われた

立てるか

どうやら
我々は
奈落の術に
落ちたらしい

術……？



あたし
一体……

琥珀は……



法師さま……？

人を捕り殺す
幻術だ

弱みをつき
その幻を
見せることで
魂を喰うという
ものらしい

幻……

さあ、珊瑚！

あ……
うん

よくもまあ
次から次へと……！

姉上！

珊瑚！？

珊瑚！

どこか
やられて
るのか！？

珊瑚！

まほろし……？

本当に……？

人を捕り殺す
陰の幻……？

心の弱さを
ついて……
その魂を喰らう
……

陰の気……
悲しみ・恐れ・
迷い——

でもあたしが
見たのは……

あの時、むしろ
あたしは——



珊瑚


私は御前が
何を見たのか
知らないし
聞こうとも
思わない

だからこそ
無責任に
言えるのかも
しれないが——

忘れてしまえ

全て





来る筈のない
未来だ

絶対に



来る筈のない……

うん……

法師さま……

本当に………？

— 終 —

無垢の血を流す腕

◎ 珊瑚さん。描きたくたぞろ。
とりあえずかごかぶよりほッ。
琥珀にいた。はせ。と可愛く描き
よかたぞろか。と思いつ。
（14. ミョウジ+なえか4と 1人70ミ）



床

HEIZO&EN KITO

INUYASHA-FOR ADULT!



無垢の血を流す腕